

令和3年度総会のお知らせ!

日時 令和3年10月24日(日) 会場 大阪ガーデンパレス
 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1丁目3番35号
 但し、諸般の情勢により変更の可能性があります。
 受付 11:00 開会 12:00 TEL(06)6396-6211

〈発行責任者〉大石 哲史 〈電話番号〉06-6349-9120
 〈編集長〉松尾 信 〈ファックス〉06-6349-9121
 〈発行所〉〒566-0045 摂津市南別府町8-40
 (株)カトー精工内
<http://www.kansai-shiwasukai.club/>

2019年、日本中が「ワン・チーム」と熱狂したラグビーワールドカップ。11月の全ての日程終了後も興奮冷めやらぬ中、年末・年始は花園ラグビー場へ全国高校選手権大会の応援にも駆け付けなんとも勢いづく私の2020年の年明けでした。そして、2月の節分にはここ30年来続けている我が家の恒例行事、大阪市住吉区にある日本最古の観世音菩薩の仏閣「あびこ観音」にお参りし、今年も災厄なく無事安泰をと祈願した矢先の大きな変化でした。よもやこの1年前、今のような緊張を強いられる世の中になるとは夢想だになかったのは私だけではなかったことでしょう。



この一年

会長 大石 哲史(大学二十二回)

ウィズコロナの時代と言われ、手洗い・消毒は勿論ですがマスク着用とソーシャルディスタンスをとることが今や当たり前となりました。が、何となく違和感を感じていませんか? 実は今、こうしてあらゆる予防策を徹底することは唯一、「本来の日常を取り戻す」ために一人ひとりに課されている訳で、三密を避けソーシャルディスタンスをとることが日常であってはならないことなのです。加えて、マスク(mask)。これは覆い隠すものつまりごまかすものそしてみせかけとの語意もあります。例えば、一世を風靡した「半沢直樹」がマスク姿で「やられたらやり返す、倍返しだ!」と言ったところで迫真力に欠けるし、朝ドラ「エール」の裕一と音の二人がもしもマスク着用だったら夫婦愛や時代におかれた苦悩も伝わらないでしょう。「目は口ほどにものをいう」といってもそれには限界というものがあります。共に笑い怒りそして泣くことも、そんな姿:テレビ画面の向こう側のドラマの方が現実の世界で、一方のそれをマスク姿で見ている私たちの方がそうではないような、まさにちぐはぐとしか言いようのない違和感ですね。

冷静に考えると、国民総マスクの状態はいわばかりその姿であり、ソーシャルディスタンスといつて人と距離をとるだけの社会も本当は成り立たないと思います。

「ニューノーマルが続くなんてあり得ない。人間は触れ合いたい動物。ワクチンや薬ができればアフターコロナでは握手やハグは復活する。人の往来もいずれ元通りになる。」と立命館アジア太平洋大学(APU)学長の出口治明さんは言い切っておられ、これには全く共感するところです。

さて、こういう世の中ではありますが決して暗いニュースばかりではありません。

まず第一は、4月に四極会本部の石川公二会長(大学13回)が春の叙勲において「瑞宝中級章」を受章されたとの吉報が入ってきました。この上ない荣誉と関西四極会会員一同心より喜び申し上げます。

そして第二は、現役学生の頑張りです。

毎年、学生が円・ドル相場の予想を競う日本経済新聞社主催の「第20回全国学生対抗円ダグビー」(今年は50校/244チームが参加)の最終順位が決まりました。6月末と7月末の2度の予想を集計した結果、何と大

分大学経済学部1年生の清水チーム5名が堂々の優勝を勝ち取りました。入学したばかりのメンバーはコロナ禍の中、キャンパスには集まれずビデオ会議システムなどを利用し、小笠原悟教授(国際金融)から為替の基礎を学んだ上で、海外の要人発言などのニュースに着目して予想を組み立てたとのこと。因みに実現値との乖離幅の平均は3円74銭に対し、優勝チームは1円08銭でした。実は2017年の第17回対抗戦においても同教授のもと大分大学が優勝しており、これにはエールを送りたいですね。

結びに、人によって事情は違いますが、このコロナの時代こそ繋がりを再構築し「お互い様」を大事にしたいものです。他者の支えなくては生きられない、自分本位ではなく「利他」の思いが広がることを願うばかりです。ウイルスが終息したころにはすっかり人間同士の仲が悪くなっていたでは洒落にもなりません!そんな世の中にならないためにも。

この一年、関西四極会として満足のいく活動が殆どできなかった分、コロナ禍が落ち着いたら是非共、心晴れやかに皆さんとまた酒を囲みたいものです。

フレット来夢・機能向上委員会(マンドリンクラブ関西OB)

ワインセミナー

真継 忠(大学十九回)



フレット来夢は2007年8月に結成され、今年で13年目を迎えます。結成当初は関西四極会と2〜3の介護ホームからの依頼がありマンドリン演奏活動を始めるようになりました。その後は高森鳴實先輩(大10)甲斐誠三さん(大21)の指導の下、毎月一回程度阪神間の公民館などに集まり練習を重ねボランティア演奏を続けてきました。途中、メンバーの発案で親睦と認知機能の維持・向上を図る目的で「機能向上委員会」を発足させ、月一回親睦目的で六甲山ハイキング、吉本新喜劇などでシニアライフを楽しんでいます。

元々、我々メンバー全員お酒大好き人間の集まりであった為、午前中(主に日曜日)の練習終了後は昼食を兼ねて居酒屋、中華、イタリアンなどで宴

会になることも多々ありました。そのうちにお酒の話題が弾み、馴染みの薄いワインについてもっと知りたい、いろんなワインを飲んでみたいという要望があり、自称「ワインソムリエ」の小生が講師役を受け持ち、ワインセミナー(ワイン飲み会)を開始しました。内容は年3〜4回午前中のマンドリン練習終了後、昼食を兼ねて公民館の一室でワイン飲み会を実施。テーマは「ワインの



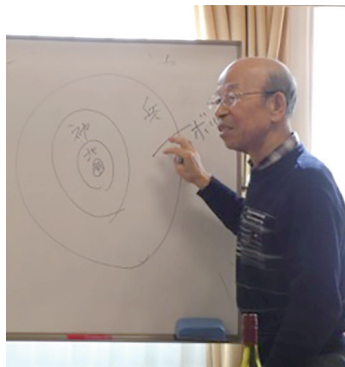
楽しみ方」や「料理とワイン」等についてです。毎回、5〜6種類のワインとチーズ、サンドイッチなどを用意し適当にお腹を満たしながら2時間、ほろ酔い気分もあり大いに盛り上がりました。今でも不定期にタイプ

の異なるワインを揃え、品種毎の飲み比べや年代物のワインなども楽しんでいきます。参加者の感想を紹介しますと①筆者は自身を「自称「ワインソムリエ」と謙遜していますが難関を突破してワインソムリエの資格を取得したれっきとしたスペシャリストです。

②一人三千円も出せば上等のワイン3〜4本+つまみ7〜8人分が十分賄えます。3〜4本では少ない? いいえ 時間をかけて優雅に飲めばジワーっと効いてきます。2本目でホロ酔い、3本目でほぼデキあがりです。適量をわきままえ、上品に酔うのがたしなみというものです。

③昨年7月のセミナーで「いいワインほど質素な食事が合う」というソムリエの話が心に残りしました。黒衣の僧が僧院でワインとパンの粗末な食事をする外国映画の1シーンと、そこに漂う清貧な空気感を思い出しました。

ここでワインについての概略に少し触れてみたいと思います。ワインとはひと言でいえばぶどう酒(ぶどうの醸造酒)のことです。基本的にはぶどうの果実を潰して発酵させたものでワインこそもっとも自然な酒と言えます。それだけにワインの場合、原料になるぶどうの品種、栽培地の土壌、天候、温度、雨量などの自然条件、栽培の方法、醸造工程などの条件が他の酒とは比べものにならないくらい、てき面にその品質に影響を及ぼします。ですからひとくちにワインとはいっても、その個性は原産地により、原料ぶどうの品種により、また収穫年や醸造方法により千差万別です。このことから価格にも天地



の差が生じます。

又、ワインの歴史は非常に古く一説によればBC7000年〜5000年頃、グルジア(黒海沿岸)付近からメソポタミア



〜エジプト〜ギリシャ・ローマ〜フランス、その後コロンブスのアメリカ大陸発見後、新大陸に広まったようです。ところでワインと料理はその組み合わせで美味しさが何倍にも増すようです。ワインと料理が互いを引き立て合い、それぞれ単体で味わうよりも一層美味しく楽しめるようです。

一般的にワインと料理の相性としては**赤ワイン**の場合は**コクのある赤なら赤身の肉料理**、**白ワイン**の場合は**フレッシュな白なら白身の魚介類**などが好相性のようにです。他に**オールマイティ**で楽しめる**スパークリングワイン(発泡性ワイン)**も人気

で幅広く飲まれていきます。又、地元の大分県にも安心院や久住に立派なワイナリーがあり、観光客以外にもその良さが注目されているようです。尚、地元食材とお酒では、辛口白ワインと鳥てん、大分麦焼酎（カボススライス付）と関アジ、関サバなどは相性がぴったりです。やはり何と言ってもお酒と料理の相性がマッチした時は食事の喜びも倍加すると思います。



振り返ってみれば我々メンバーは大学卒業後、約半世紀の月日が流れ、何かの縁で再び巡り合うことができたのも不思議なことと思っています。又、マンダリン演奏がきっかけで関西四極会の仲間に入ることが出来ました。これからもフレット来夢のメンバーはボランティア演奏や機能向上委員会の活動を継続し、元気なシニアとしてコロナ禍や老いに負けずに充実した人生を送りたいと思っています。

ワインと料理

（楽しみ方三カ条！）

①色や香りを合わせよう
赤ワインは赤身肉やハンバーグなどの赤や茶系の料理を、白ワインには鶏や豚などの白身肉や魚介類を、ロゼワインならサーモンやサラミなど色味で組み合わせましょう

②似たタイプを合わせよう
濃厚な味付けの料理には濃厚な味わいのワインを、軽いつばりした料理には軽いワインを

③産地を合わせよう
和食には酸味や渋みがやさしい甲州ワインが相性ピッタリ



振り返れば

人生の出発点…大分

井崎 賢二（大学二十一回）





大分大学受験のため、博多から小倉経由で大分に向かった昭和44年3月のことが思い出されます。小倉から中津を過ぎ田園地帯をぼんやりと眺めながら、日出駅を過ぎると別府湾の青い海が眼下に広がりました。温泉の湯けむりと高崎山の沖合に浮かぶ白いヨットが鮮やかで、気持ちが一挙に高揚した瞬間でした。

入学直後は学生運動が激しく学校封鎖の中、講義はほとんどありませんでした。クラブは心の中で決めていたヨット部に入部し、西大分をベースに坂ノ市海洋会館、別府北浜での練習と合宿、更には彦根の滋賀大学経済学部ヨット部への武者修行などヨットが上手になりたい一心で練習や体力鍛錬をしていたように思います。
入部当初の歓迎コンパでは新

入部員が30数名いましたが、最後まで残ったのは8名で、1名が亡くなりましたが今でも交流が続いています。

また遠征試合で長崎、広島、鹿児島、博多へ行くなどヨットを中心とした学生生活に明け暮らしました。大学4年の6月に博多でのインカレが終わった時には、ヨット生活が終わったことの喪失感で寮の自室で1週間燃え尽きたようにぼんやりとこれまでのヨット生活を思い返していました。

久し振りにゼミに出席し、卒論のテーマを「直接原価計算」に決めたことを河野二男先生に告げると、「会計人コース」と言う雑誌社から先生へ原稿依頼があるが「君が原稿を書いてくれ。」とのことで、夏休みが一気に多忙になり毎日図書館通いとなりました。9月の初めに卒論を仕上げ提出したら、なんと私の卒論を中心にゼミを進めるとのこと。毎回自分の卒論を説明し、皆で討論する形式で進められました。

大学4年の4月には就職先が決まっていたので、前期試験が終了した10月中旬の試験休みに卒業旅行として「大分県南部の自転車旅行」を思い立ち、実行しました。

自転車はヨット部の後輩から借りて、ルートは学生寮を出発して国道10号を南下して佐伯で1泊し、翌日は国道217号線を海沿いに北上し津久見で1泊、そして津久見から白杵経由で国道502号線に入り学生寮に戻る2泊3日のコースでした。（地図参照）

1日目、佐伯の手前の山道を走っていたら「井崎川」の表示板が現れ、私の苗字と一緒の川があることに驚きました。後で調べてみると九州屈指の清流として知られる番匠川の支流だと分かりました。

この日は佐伯鶴城高校の前にある養賢寺の宿坊に宿泊しました。「養賢寺」は臨済宗のお寺で佐伯藩主毛利家の菩提寺です。

宿泊をお願いしたら、「宿泊代はいただきますませんが、朝5時に起きて清掃をお願いします。」とのこと。その時、広大な敷地の中にお坊さんと私の2人だけと分かり、不思議な世界に紛れ込んだ錯覚に襲われました。夕

食はお坊さんが法事でいただいたうどんを食べながら禅問答の話聞いた後、宿坊で吸い込まれるように深い眠りにつきました。

2日目の早朝、まだ暗く肌寒い本堂の長い廊下をふき掃除しながら手伝っていると、薄暗い本堂の中に座禅している人とお坊さんが目に留まりました。朝食の時に坊さんから「鶴城高校の陸上競技をやっている女子高校生で、近く競技大会があるとのこと、毎朝座禅しに来ている。」との話でした。

澄み切った空気と静寂の養賢寺でのできごとが、余りにも非現実的な出来事で、いままでにはない体験だったと感じながら山門を後にしました。



大分県南部の自転車旅行(昭和47年10月)

佐伯から津久見に向かう途中は、秋晴れで空気が澄み渡り稲刈りの真つ盛りでした。

お昼前でしたが、稲刈りをしているおばさんに水筒の水を頂きたいとお願いしたら、「丁度昼食に家に帰るので、一緒に遊ぼうか。」とのことでした。途中「学生さんか?」と質問されて「大分大学経済の学生です。」と答えたら、私の名前を呼ばず「経済の学生さん」と

呼ばれながら家に着きました。「食事を準備するから、座敷に上がって一緒に食事をしたいなさい。」とのことでお相伴に預かりました。また、大学3年の時、大分竹町のバス停でお婆さんが大きな荷物を持っていたので手助けしてあげたら、「家に遊びにおいで。」と誘われ、食事を頂いたことも思い出していました。今考えると、都会では、見知らぬ人に食事を振る舞うことは無いでしょう。それと「経済の学生さん」と何回も言われましたが、恐らく経済学部の先輩方の影響が大きかったからでしょうか…。

3日目は、津久見から臼杵経由で学生寮まで必死に自転車をこいで、無事に計画を達成することが出来ました。この旅行では、思いもかけない出来事が何回もあり貴重な体験として今でも深く心に残っています。

大阪の会社に就職しても数年間は、休みの日には琵琶湖でヨット教室のコーチなどをしていましたが、仕事と家庭が多忙になり止めました。それでも、機会があれば伊豆や千葉そして西宮などでヨットに乗って楽しみました。

数年前には、40数年ぶりにヨ

ツトの同期会を京都で開催し、お互いの健康と再会を楽しみに散会しました。

古希を過ぎて振り返れば、大分での四年間が人生の出発点です。いつかまた学生時代の自転車旅行と同じコースを、今度は車で辿ってみたいと思っています。

私の 回想録 阿部 修 (大学二十回)



私が大分大学経済学部に入学したのは、昭和43年4月で当時大学の学舎は、上野丘の大分高商を引き継いで利用されており、学生寮も高商時代の「鴻図寮」を利用していました。当時は学生寮に入寮するのも家族の年収を申告させ、一定額以上の学生は入寮できないという学生課の規則があり、寮生活を希望していた私も家族の年収を正直

に申込書に記入し、外れたみたいです。大分には、二番目の姉が義兄の転職で県立病院の公舎に住んでおりましたので入学後1ヵ月程、居候してありました。入学後すぐに弓道サークル(のちに部に昇格)に入り、同級生の部員で寮に入っている連中から寮生活の様子を聞いて、家族の年収関係なしに入れると解り、4月に行われた出身高校の歓迎会で当時4年生だった寮の先輩に口添えいただき、入寮する事ができ、やっと姉から自由になった事に喜んでおりました。入寮当日の晩に、突然ストームの洗礼を受けたのには参りましたが、2年間の鴻図寮の生活は大学時代の貴重な思い出となりました。

当時は昭和43、44年と全国の大学で学生運動の盛んな頃で、大分大学も経済学部と教育学部の且野原への統合移転が決定しており、学生会館や学生寮の管理運営を学生に自主管理・自主運営させると大学本部と毎日団体交渉の集会に参加したものです。全国の大学には、多種多様な問題が山積しており、当時の運動家はノンポリ学生層の取り込みで問題提起し、授業妨害や大学封鎖を行い、44年東大安田講堂事件、東大入試全学部中止

など全国大学で学園紛争が起きた時代でした。当大学も、且野原に統合移転し、私も3年〜4年を新校舎・新学生寮で過ごしましたが、当時学生が主張した「自主管理・自主運営」も最初の1年位は、順調に行われましたが、その後、公共の場である洗面所やトイレの清掃が行き届かず、荒れ放題になったのは残念です。

学生時代には「金融論」の竹村教授ゼミに入り、信用創造理論の研究を卒論テーマにして銀行の金融における中心的地位に興味をもち、大学卒業後、私は大学の先輩のリクルートで、S銀行へ就職し、銀行員時代を送りました。オイルショックまでは、順風満帆だった金融機関もバブル好景気を経験し、イギリスのサッチャー政権のビッグバン政策の影響を受けた橋本内閣の不動産総量規制によるバブル崩壊後の日本経済動向を、当時私は、銀行の関連会社へ出向し担保不動産評価を通じて知ることができ貴重な体験となりました。銀行員時代、都市銀行の為、地方支店（姫路、広島、久留米）経験や大学時代弓道部所属で九州全県、山口県とインカレ対抗試合で見聞できていたことが、定年まで勤めた出向先の

担保不動産調査会社の調査業務に大いに役立ちました。出向先では、同僚は銀行出身者で構成されており、コミュニケーションもとれ人的ストレスもなく、毎日の出勤が楽しみな位で、東京・名古屋に各2年半合計5年単身赴任して、東北地方の不動産調査も出来、新日本風土記で地をいく人生体験が出来ました。

現在も、特に持病もなく元気に地元自治協議会のお手伝いができることに感謝しながら、三重県の伊賀市で暮らしています。

人生100年の時代 介護を考える

神本 信正
(大学二十三回)



人生七十、古来稀なり。私は、今年数え年で70歳になります。山口県岩国市にて、兄2人妹2人弟1人の6人兄弟に生ま

れ、小・中・高・大学と大分市内で過ごしました。小学校から高校まで新聞配達をしており、東京オリンピック・大分国体・大阪万博まで新聞配達していました。夕刊配達でクラブ活動には縁がありませんでした。高校は理系クラスにいたので、大分大学受験はクラスで私一人でした。入学後すぐに休学届を出し

て、一年間社会人として働きました。二年目から新入学生と一緒に通学はじめ、ラグビー部に入りました。おかげで楽しい充実した大学生活を送りました。昭和・平成・令和と生きてきました。戦後のベビーブームのすぐ後に生を享けました。当時は、出生者数最高270万人、高齢化率5%弱、平均寿命男56

歳女60歳でした。大学入学の頃、大阪万博当時に高齢化率7%超え、高齢化社会に突入。阪神大震災の頃出生者数119万人、高齢化率14%で高齢社会へ。平成19年には高齢化率21%超高齢化社会に突入しました。現在は高齢化率28%以上です。平均寿命は、男性81歳女性87歳です。70歳は稀ではなく、ごく普

令和元年版高齢社会白書より

図1-1-2 高齢化の推移と将来推計

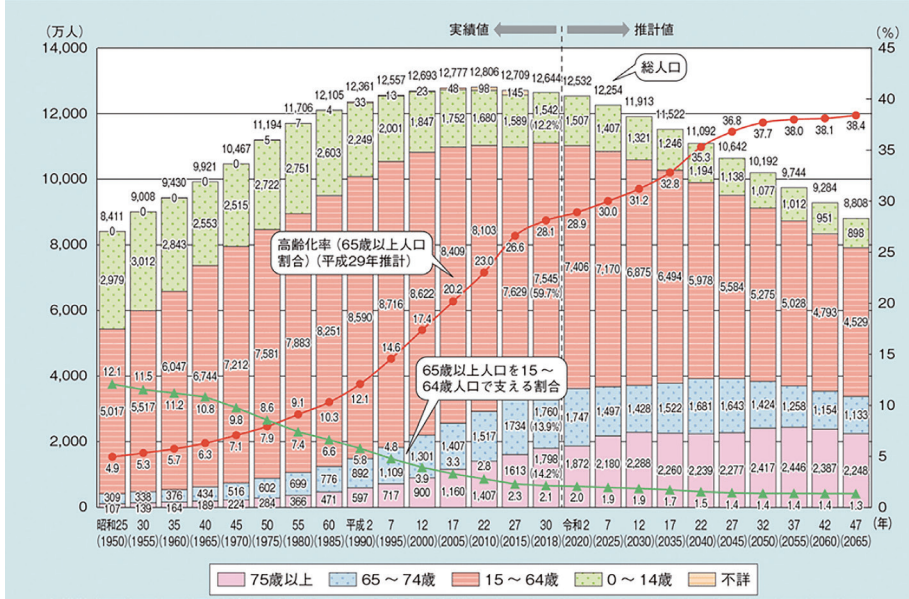
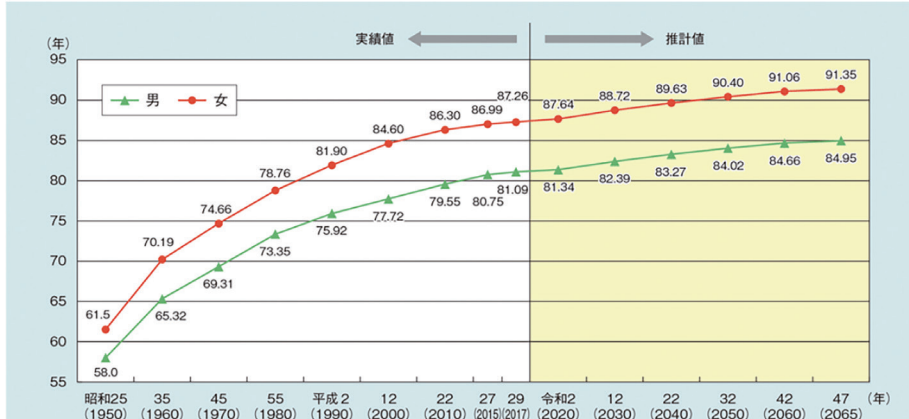


図1-1-4 平均寿命の推移と将来推計



通で、それ以前に亡くなると、早死に・若死にと言われます。百歳以上の人口は、統計取り始めた1963年はたった153人だったが、昨年は7万人以上となりました。人生100年の時代到来です。

卒業後は、銀行に27年勤めました。結婚し子供5人授かりました。父親は高校二年の時47歳で亡くなり、母親は銀行卒業前に77歳で亡くなりました、銀行のお世話で、第二の職場として、介護の世界に入りました。

平成13年より、介護保険の施設で、老人ホームの責任者、特別養護老人ホームの施設長15年余り、有料老人ホームの施設長1年余り経験致しました。介護が必要になったら、本人は勿論、家族も大変です。今までの普通の生活が突然出来なくなってきました。介護保険の制度を正しく理解し、介護保険をうまく使えるかどうか、なかなか難しい問題です。これまでは、介護のことなど考えてもみなかった人に、いきなり現実の問題として降りかかってきます。このような事例を沢山見してきました。そして、これまでは人ごとだったものが、今度は突然に我が身に降りかかってきます。介護は、両親や親戚のことだと思っ

てきたのに、病気・事故その他で、いつわが身に介護問題が降りかかってくるかわかりません。介護が必要となっても、慌てず騒がず迷惑かけず、自分の最期のこと、今から考えておきたいものです。そのためにもある程度は介護保険制度を理解し、老化を受け入れることも必要かと思えます。人生100年の時代、元気で100歳を迎えたいと思います。そして、この世に生を享けたことに感謝し、萬物に感謝し、親先祖両親に感謝し、家族に感謝し、世の中の全ての人々に感謝し、あと30年、出来るだけのご恩返しをして人生を全うしたいと思っております。



初めてのカーナビ

石橋 英行
(大学二十三回)



8月に三木市に行く用事ができました。地図を広げてみると、どうも電車やバスは使えそうにありません。それなら車で行くことになりませんが、道路マップだけでは不安です。(これまでは、道路マップだけが頼りでした。)ここで思いついたのが、カーナビの利用です。ところが、小生は生まれてこの方自分でカーナビを利用したことが一度もありませんでした。車には一応カーナビが装備されていますが、小生は購入以来6年間、まだ1回たりともそれを利用したことがありません。まあ、何とかなるだろうと、暑いさな汗汗だくになって装置をいじっていたら、使い方がだんだんわかってきました。(奇跡と歓喜！)

(参考…本人の特性)
・IT系には全く弱いこと
(会社員時代にはPCの利用で難儀しました。)
・相当の方向音痴であること
(デパートの帰りの出口が変われば即迷子です。)
・妻には1年中屈服していること
(雌伏30余年、逆転の日は来るか。)
さあ、次はテストです。目的地を少し離れたスーパーマーケットにしてスタートしました。音声で「右折して」「左折して」「あと300mで左折して〇〇方面へ」「しばらく道なりに」と指示してくれるので、カーナビの画面はあまり見る必要がありません。これは助かりました。小生は運転は上手い方ではなく、フロントガラス、バックミラー、カーナビ画面の3つを同時に見ることになれば、これは大惨事まちがいなしです。小生が普通利用している道とは少々異なります。でも、カーナビのお陰で何とか目的地に到着。(めでたし、めでたし！)
そして迎えた三木市に行く当日。何とか目的地に到着しました。ただ、「目的地の周辺です、これで案内を終了します。」の最後通告の後、目的地を少々オーバーランしてしまいました。

このように、無事(?)目的地に着けたのは、何かふしぎな気持ちになりました。これまで旅行などは道路マップだけでしたが、これからはカーナビの利用も加えて、道路の間違いの少ない旅行ができればいいな、と考えています。

マエダの話

食べ物編
前田 尚子
(大学四十一回)



結婚を機に大分から関西に来て20年以上経ちました。「あかん！」ととっさに口から出ることもおぼちゃんから「アメちゃん」をもらったこともありませんが、素麺や烏賊のお刺身は生姜で食べ、あんかけうどんをこよなく愛し、食の面では確実に関西人化しつつあります。また、百貨店の催事場で大分の唐揚げを見つけると必ず自ら寄って行って自分が大分県出身であ

ることを述べ、大分はどこから来たのか聞き、関西に来て初めて大分は唐揚げが有名であることを知ったと言い、長々と営業妨害をするいわゆる関西のおばちゃんを演じる大分県人になったりもするのです。あ、ちゃんと営業協力もしていますよ。因みに大分市内はとり天圏、別府より北が唐揚げ圏です！

私は関西に来た時、感動した食べ物がありました。これは幸いなことに今だ変わらず店頭に並んでいます。元号が平成から令和になり、梅田阪急百貨店が新しくなり、それまで通過点でしかなかった阪急西宮北口駅に西宮ガーデンズが登場するなど世の中がどっと変わる中で、これは大変喜ばしいことです。

さて、感動したものの一つ目は「鯛の桜蒸し」です。関西人の主人が梅田の阪急百貨店美濃



吉さんで買ってきてくれました。桜餅で鯛の切り身を包み、餡をかけた一品。素材そのままの料理が多い大分にはない手の込んだお料理で、見た目の美しさと上品な味に、ただただ感動しました。以来、春になると必ず買い求めます。近所のパン屋さん（パンネル）には、桜餅パンが年中並んでいます。関西人は桜餅のアレンジが好きなのでしようか？私の春は、鯛の桜蒸しとともにやってくるような春ですね。

2つ目はおなじみ、アンリシヤルパンティエさんのマドレーヌです。フィナンシェの売上高が有名ですが、私はマドレーヌ派です。バターのコクと爽やかな風味が口の中にフワッと広がる幸せは、何とも言えません。洋菓子の激戦区関西で、知らない人はいない位の人気店でしょう。何と、ふるさとのデパートトキハにもアンリシヤルパンティエが入っているのです（生ケーキは置いていませんが）。今では一口サイズのアソートも登場



し、選ぶ楽しみが増えました。最近は一ツサイズのお菓子が流行っていますね。一口サイズだとたくさん食べてしまう私はプラごみを増やすだけで、環境にも体にもよくないようですが…

3つ目は西宮市甲陽園にあるツマガリさんの生ケーキ「雪の恋」です。



阪急甲陽園駅を降りるとお菓子のいい香りが漂ってきます。その瞬間に幸せな気分になるので。もう女王様の気分！焼き菓子は大丸でも購入できますが、生ケーキは甲陽園の本店のみでしか買えません。わざわざ買に行かなければなりません。そこがまたいいのです。数あるケーキの中でも「雪の恋」は、バター風味がしつかり効いたタルト生地、軽い食感のチーズケーキが乗り、回りが生クリームでコートされた極めてシンプルで可愛いケーキです。ただ、最近底がタルト生地ではなくスポンジケーキの生地のものであるので、気になっているのですが…この点は機会があれば、ご報告致します。

いろいろな新しい食べ物が登場する昨今ですが、今でも変わることなく当時と同じものを味わえるなんてなんと幸せなことでしょう。

大分も大分駅前が見事に変わりました。新しい味が登場していますが、おなじみの物も健在なようです。コロナのステイホーム中、白杵煎餅を頂きました。あの白い筋の入った生姜風味のお煎餅です。食べたなら止まりません。ただ、これは自分で作らなければなりません。した！「白杵煎餅手塗り体験キット」です。土台のお煎餅、生姜糖パウダー、刷毛がセットされています。説明書通りに生姜パウダーを溶きレンジでチンして刷毛でお煎餅に塗っていきなす。「簡単！簡単！」なんて思っています。が、まーこれが難しい！生姜糖を薄く薄く、そしてしっかりと強めに塗っていくのがコツのようですが、手がベトベトになる、うまく筋がでない、塗りすぎてなかなか乾かす生せんべいのようなになる、などなど四苦八苦。職人さんに脱帽



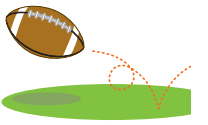
です。やっぱり職人さんはずい！今まで何も考えずにパクパク食べていたのですが、これからは感謝して食べようと思った次第です。興味のある方は、ぜひお試し下さい。大人がはまってしまいますよ。YouTubeに作り方もアップされています。因みに白杵煎餅にも一口サイズが出ています。郷土のお菓子も時代にちゃんと乗っておられます。ただ食べ過ぎにはご注意ください！

これから先もいろいろな食が出てくるでしょうが、大好きなものは後世まで残っていてほしいと切に願う今日この頃です。もちろん四極会も！

クラブだより

大分大学ラグビー部OB会と 関西支部の活動について

安部 正則（大学二十一回）



大分大学ラグビー部は、1922（大正11）年、大分大学経済学部の前身である官立大分高等商業学校が創設されると、間もなく大分高商蹴球部として産声をあげました。当時は、まだ日本には、慶応、京大

などにしか蹴球部がなく、九州で一番早くチームとして誕生したことになります。その後、大分経済専門学校、大分大学経済学部へ変遷、キャンパス・グラウンドも上野丘から1969（昭和44）年に旦の原に移転しました。この年から教育学部のラグビー部も合流、その後、工学部（現在の理工学部）、医学部の開学も続きました。ラグビー部OB会の設立には、1940（昭和15）年卒業でその後、コーチ、監督をされ初代OB会会長となられた武田義幸氏が大変ご尽力されました。当初OB会は全国的なものではなく、各地区での親睦試合や懇親会が中心でした。1980

（昭和55）年、初めて全国から100名ほどのOBが参加し、関西で全国総会が開催されました。その後1年〜3年に一度、全国OB総会が開催され現役員員の経済的支援及びOB会員の相互の親睦を会の目的として今日に至っています。2012（平成24）年には各年代のキャプテンを中心に投稿してもらい130ページにも及ぶ「大分大学ラグビー部90年史」が刊行されました。この九州で一番古いラグビー部は2022（令和4）年に100周年を迎えます。この間、多くのOBを輩出し、その数は400名以上となっています。OB会員は大分支部、九州支部、関西支部、関東支部に所属し、大分で開かれる全国総会を除いては、それぞれの支部で活動に参加しています。

関西支部は四国から近畿、北陸、中部地区と広い地域をカバーしており、20歳代から80歳代までの40名ほどのOBが所属しています。地理的な問題もあり、支部の活動は主に25名ほどの近畿地区と10名ほどの中部地区に限られています。中部地区は毎年、新年会だけの活動となっていますが、近畿地区は毎年の新年会に加え、春と秋のハイ

キングとなっています。OBの方の居住地近くのハイキングコースを楽しんだ後、居酒屋で反省会と称して近況報告を行っています。他支部からの参加も時々あり、あまりの盛り上がり二次会、三次会までハシゴすることもあります。大学時代から酒豪の多かった面々ですがOBになってもその酒量は落ち

ゴルフ部活動報告

第42回 懇親ゴルフ会

河野 博文
（大学二十二回）

後藤 寛
（大学二十七回）

開催日 令和2年9月24日（木）
天候 曇り

場所 関西クラシックGC
湯谷↓清水コース

参加者 12名（3組）

加藤皓以（大11回）、小川清一郎（大15回）、宇都宮護（大17回）、鍵本明（大17回）、長谷川浩二（大17回）、野中千尋（大21回）、河野博文（大22回）、福田誠（大23回）、後藤寛（大27回）、児玉幸寿（大28回）、満見毅（大28回）、田崎隆徳（大32回）

ておらず暴飲暴食が止まりません。残念ながら今年も新型コロナウイルスの影響でハイキングは中止となりましたが、収束後は是非また楽しくお酒を飲み交わしたいと思います。更に2年後の2022（令和4）年大分で開催される100周年行事に向け「ONE TEAM」となって盛り上げてゆきたいと思っています。

成績表

順位	氏名	GROSS	HDCP	NET
優勝	福田 誠	94	19.2	74.8
2位	河野 博文	99	24.0	75.0
3位	長谷川浩二	86	8.4	77.6
ベストグロス	長谷川浩二	86	-	-

新型コロナウイルス感染症予防の為、6月の開催を中止しましたが、GOTOトラベルも始まり新しい生活様式が始まった中、今回9月24日に第42回懇親



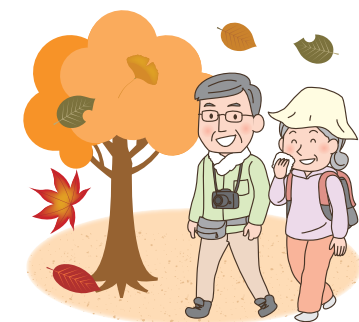
ゴルフ会を開催しました。台風
の接近が心配されましたが、幸
いスライスして避け、曇り、微
風の好コンディションでした。
成績は福田さんが念願の初優
勝、長谷川さんが86でベスグレ
でした。
2大会振りに参加の加藤会長
も5位と健闘され、初出場の児
玉、満見 両君も入賞を果たし



ました。
今回は密を避け、集合写真も
ソーシャルディスタンスを取
り、会食は中止し、表彰式のみ
行いました。
コロナ禍が長引く中、野外活
動のゴルフは健康維持には最適
であり、来春の開催を確認して
散会致しました。

今年の会活動に多大の支障
をもたらした新型コロナウイルスも関
西地区においては患者発生数
がやや下火となり、全体の経
済活動も政府支援策で活況が
戻ってきつつあり先行きに明
るさを感じられます。しかし
ながら「GOTOキャンペーン」で人が動けばコロナ菌が
攪拌され、しばらくは患者発
生数の推移に注意が必要なこ
とは云うまでもなく、また、
各地で大小のクラスターが発
生しておりコロナ菌に油断は

禁物です。
当「四極の風の会」では、
今春の新型コロナウイルス流行に鑑み
春季散策会を中止、秋季散策
会（例年は2回開催）もその
後の流行状況を見て中止の提
案としました。（春は急激な流
行拡大のため幹事判断による
中止、秋は9月10日に会員に
中止提案）
今後の活動予定は未定です
が来春2〜3月の散策会開催
を考えています。そのために
はコロナ流行推移の状況と、



併せて散策地の選択に十分な
配慮のうえ計画したいと考え
ています。

四極の風の会 活動報告

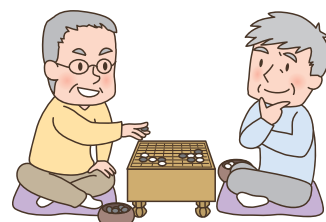
利光征四郎（大学十一回）

囲碁部活動報告

小川清一郎（大学十五回）

令和2年の囲碁部の活動は、
新型コロナウイルスが世界中に蔓延し
た影響を受け、1月新春大会
以降3月から10月までの計画
（春季・夏季大会及び交流戦）
すべてを中止いたしました。
対局が屋内で密な条件で行
われること、会員が高齢者で
構成されていることを考慮し
判断したものです。
今は、コロナが1日も早く
収束することを祈り、そして

会員諸兄と対局できる日が来
ることを願っています！
新春囲碁大会
（R2.1・25開催）
於て 梅田囲碁センター
参加者 6名
大村龍興（大11）
猿渡信正（大12）
村田良一（大15）
小川清一郎（大15）
古田智則（大22）
和田安生（大24）



賞
第1位 古田智則（大22）
第2位 村田良一（大15）

たより

(順不同)

(令和二年二月～四月)



経専二十六回 細田 泰嗣
足が大変弱くなりましたので満一出席できないようでしたら早めにご連絡します。

経専二十七回 河野 正道
卒寿に突入するも週一のボーリング、グラウンドゴルフに精勤中。市老連のボランティアなど多忙。総会には知人少なく欠席します。祈盛会！

経専二十七回 川崎 和
ご盛会を祈ります。

大学八回 大橋 伸吉
関西四極会報楽しく読ませていただきました。ありがとうございます。

大学九回 高田 利雄
元気です。

大学九回 山本 治
大学九回卒の歩こう会(山麓会)は、今年で30年目を迎え、誇らしく思っています。

大学十回 高森 鳴実
残念乍ら欠席させて頂きま
す。幹事の皆様には御苦勞様
です。

大学十回 岡村 伸啓
老人野球のリーグ戦の予定あ
り、出席出来ません。盛会を祈
っております。

大学十回 広畑 孝行
病氣療養中ですが、会える
時にお会い出来るのが楽しみ
です。

大学十回 松本 孝雄
ご盛会を祈ります。

大学十一回 高山 明之
病氣療養中につき、残念なが
ら欠席いたします。

大学十一回 藤丸 靖夫
体調不良により欠席させて頂
きます。関西四極会総会のご盛
会を祈念しております。

大学十二回 安部 登
盛会をお祈りします。

大学十二回 内山 博之
令和元年という新しい時代で
明るい展望が期待された昨年
ですが、想定外の水害などに見舞

われた一方、私個人も腰痛とい
う不幸が好転せず二年越しの新
年を迎え、今も外出に抵抗の
日々を送っており、出席叶わぬ
現状で残念です。今年もコロナ
ウイルスなる災害に世界がおの
のいていますが、早急の終息
と、当会の肅々たる盛会を祈っ
ております。

大学十二回 土屋 義方
予定が組まれています。盛会
をお祈りします。

大学十二回 原 尚
幹事殿には毎回大変お世話に
なっております。都合により出
席出来ませんが、盛会を願っ
ています。

大学十二回 岩崎 正義
申し訳ありません、当日他用
のため出席出来ません。

大学十四回 古賀 裕敏
関西四極会総会の開催おめで
とうございます。私は現在2つ
の病気のリハビリ中で順調に回
復していますが総会出席は申し
訳ありませんが欠席させていた
だきます。

大学十四回 勝 知也
コロナに係る持病もあり、欠
席させて頂きます。

大学十五回 東 賢次
丁度この時期他の行事(原爆
被害者の会)と重なり申し訳あ
りませんが欠席します。心臓に
ステント2本入っています。テ
ニスもやりとりあえず元気で
す。ご盛会を祈念します。

大学十七回 長谷川浩二
年に一度、元気な顔を見るチ
ヤンスです。楽しみにしていま
す。

大学十七回 米田 民雄
年初から体調を崩し、残念乍
ら欠席とさせて頂いたきます。
盛会をお祈り致します。

大学十七回 田川 幸雄
・幹事の皆様に感謝です
・体調スッキリせず欠席です
・盛会期待
・小林さんありがとうございます

大学十七回 牧 匡男
ご案内ありがとうございます。
病のため勝手ながら欠席で
お願いいたします。

大学十七回 安藤 清
御盛会をお祈りします。

大学十七回 野村 建
体調不良のため欠席させて頂
きます。

大学十九回 田中 英一
関西四極会は初めての参加と
なります。宜しくお願い致しま
す。

大学十九回 真継 忠
当日はフレット来夢の一員と
してマンドリン演奏をさせてい
ただきます。

大学二十回 阿部 修
ご案内ありがとうございます。
今年には自治会の役員終わ
りましたので参加させて頂いた
きます。よろしくお願いいたしま
す。

大学二十回 和田 浩之
毎年のご案内、恐縮至極。毎
年の欠席、悪しからずご容赦下
さい。

大学二十回 児島 孝利
関西でも新型コロナウイルスが拡
がりつつあります。収束の見通
しが、不明であるため欠席させ
ていただきます。

大学二十一回 井崎 賢二
鴨川を見ながら、毎朝1時
間の散歩で、体調維持に努め
ています。今年も宜しくお願
いします。

大学二十一回 野中 千尋
(妻) 正子も出席させて頂
きます。

大学二十一回 吉村鉄太郎
よろしくお願ひ致します。

大学二十一回 安部 正則
丁度旅行と重なっており申し
訳ありません。ご盛会をお祈り
いたします。

大学二十一回 河崎 照行
研究会のため、欠席します。
ご盛会を祈念しています。

大学二十二回 河野 博文
COVID-19が早く沈静化
します様に祈ります。

大学二十二回 今仁 正義
総会前日に滋賀県で70kmウル
トラマラソンを走るので余呉か
ら会場へ向かいます。

大学二十三回 平野 和彦
妻の裕子(教育学部S50年
卒)も出席させていただきます

ので、宜しくお願ひ致します。

大学二十三回 新西 文仁
欠席させていただきます。68才に
なりますが、「青春とは心の若
さ」を実践しております。

大学二十三回 工藤 俊彰
平野様へ、いつも手書きの招
待状ありがとうございます。今
日も欠席とさせていただきます。宜
しくお願ひ致します。

大学二十三回 神本 信正
当日所用あり、欠席致しま
す。みなさまに宜しくお願ひし
ます。

大学二十三回 栗崎 実
いつも失礼いたします。盛会
を祈念致します。

大学二十三回 宮本 勝一
COVID-19の為欠席しま
す。(予防の為)

大学二十四回 小玉 稔
御世話になります。

大学二十六回 水野 豊
トラック協会支部役員研修旅
行の日程と重なり欠席します。

大学二十九回 小野 輝彦
父親の体調不良のため今回出
席は見送りとさせていただきます。
皆様によりしくお伝えくだ
さい。盛会を祈念いたしてお
ります。

大学三十三回 佐藤 浩己
仕事の関係があり、欠席させ
て頂きます。



2020年度会費納入者名簿（敬称略）

令和2年11月30日現在

氏名	卒業	氏名	卒業	氏名	卒業	氏名	卒業
奈良定諄一	高19	内山博之	大12	矢野真治	大18	児玉幸寿	大28
松久博	経22	武下孝治	大12	大谷真二	大19	満見毅	大28
藤田利男	経24	土屋義方	大12	田中英一	大19	小野輝彦	大29
二宮憲夫	経26	原尚	大12	真継忠	大19	河田信雄	大30
細田泰嗣	経26	松田洋三郎	大12	阿部修	大20	佐藤敏明	大30
川崎和	経27	三浦英樹	大12	河内正志	大20	松永秀隆	大31
河野正道	経27	木ノ下憲二	大13	久保幹雄	大20	田崎隆徳	大32
牛島恒夫	大1	古賀義人	大13	児島孝利	大20	池田浩	大33
恩賀幹雄	大3	柴垣俊三	大13	津志田総穂	大20	佐藤浩己	大33
緒方副人	大4	比嘉賀昌	大13	中倉義介	大20	大脇藤人	大34
嶋津宣孝	大4	三浦征洋	大13	中島正博	大20	西村章	大34
高橋前	大4	山下隆士	大13	野瀬俊一郎	大20	坊垣巖	大39
児玉一朗	大6	勝知也	大14	原国俊	大20	小野正輝	大40
山下澄弘	大6	川西輝明	大14	古野美歳	大20	小林以久恵	大40
石尾雄幸	大7	古賀裕敏	大14	山岡広和	大20	前田尚子	大41
古賀和弘	大7	堤真洋	大14	安部正則	大21	松田淳	大41
大橋伸吉	大8	東方匡輔	大15	井崎賢二	大21	奥竜一郎	大42
岡田昌也	大8	小川清一郎	大15	甲斐誠三	大21	山口浩司	大44
高見末雄	大8	小野仁彦	大15	河崎照行	大21	山口朋子	大44
浅野信一	大9	佐々木武男	大15	木村政臣	大21	山中紀子	大46
有村良三	大9	橋本永爾	大15	野中千尋	大21	前田利章	大51
梶田東雄	大9	東賢次	大15	山崎清太	大21	神澤進	大54
小西敬一郎	大9	松本英樹	大15	山本良一	大21		
坂本哲男	大9	村田良一	大15	吉村鉄太郎	大21	高商	計1名
高田利雄	大9	山口紘治	大15	泉博二	大22	経専	計6名
橋本彰	大9	畔津俊郎	大16	井上龍生	大22	大1～10	計29名
林茂暉	大9	加藤剛	大16	今仁正義	大22	大11～20	計77名
森信孝	大9	杉浦三郎	大16	大石哲史	大22	大21～30	計39名
山本治	大9	寺岡和雄	大16	河野博文	大22	大31～40	計9名
梅木騏八郎	大10	赤星学	大17	坂本温	大22	大41～50	計5名
衛藤慎吾	大10	有馬敏則	大17	辻次郎	大22	大51～60	計2名
岡村伸啓	大10	安藤清	大17	藤野敬三	大22	大61～	計0名
河江智	大10	宇都宮護	大17	古田智則	大22	総計	168名
中山克彌	大10	鍵本明	大17	石橋英行	大23		
広畑孝行	大10	清松壮生	大17	江良正勝	大23		
吉田吉則	大10	後藤克己	大17	神本信正	大23		
安部亮一	大11	坂本直	大17	栗崎実	大23		
大村龍興	大11	田川幸雄	大17	新西文仁	大23		
加藤皓以	大11	時枝信康	大17	進來英治	大23		
高山明之	大11	野村建	大17	平野和彦	大23		
利根善美	大11	長谷川浩二	大17	福田誠	大23		
利光征四郎	大11	松尾秀人	大17	宮本勝一	大23		
長岡泰彦	大11	米田民雄	大17	小玉稔	大24		
原光伴	大11	渡辺靖夫	大17	和田安生	大24		
藤丸靖夫	大11	和田正彦	大17	佐村信哉	大26		
湯浅喬	大11	高橋聡子	大18	松尾信	大26		
安部登	大12	羽矢寧典	大18	水野豊	大26		
阿部浩	大12	真部誠司	大18	小俣秀記	大27		
岩崎正義	大12	三谷博	大18	後藤寛	大27		

会費納入ありがとうございました。令和3年度もよろしくお願いたします。



粘着テープ・各種機能性フィルムの打抜加工・販売

KATO SEIKO
KATO SEIKO

取締役会長 **加藤 皓以** (大学 11 回)

株式会社 **カトー精工**

<本社> 〒566-0045 大阪府摂津市南別府町8番40号

TEL.06-6349-9120(代) FAX.06-6349-9121

<国内>相模原事業所・名古屋事業所・福岡事業所・仙台営業所

<中国>天津加藤精密電子有限公司・東莞加藤精密電子有限公司・蘇州加藤精密電子有限公司

<香港>香港加藤精電公司

Fukuhara

一般区域貨物運送事業
機械器具設置業・鳶土工業

代表取締役 **水 野 豊**

大学26回 和田ゼミ 軟庭



福原運輸株式会社

〒556-0022 大阪市浪速区桜川2丁目11番31号

TEL(06)6562-7377 FAX(06)6561-5693

編集後記

前任の辻次郎氏(大22回)より引継を受けまして、今回初めて会報の編集に携わらせて頂きました。

関西四極会報も本号で第25号の発刊となりましたが、ご寄稿頂きました皆様には心から厚く御礼申し上げます。今回は特に、且野原世代の方を中心に寄稿頂いております。

本年は、新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら関西四極会総会も中止となりましたが、その他部活動も中止や自粛を余儀なくされました。緊急事態宣言下、誠にご苦労様でした。従いまして、会報作成に際しても多少影響がありました。今回、同会の会員の方々の総会出席ハガキの短信欄につきましては、総会開催の前提で3月中旬現在のおたよりをそのまま掲載させて頂いておりますので、何卒ご了承願います。

来年こそ是非共総会の開催ができればと思っておりますが、まだまだ厳しい状況が続いております。引き続き会員各位のご支援・ご指導を宜しくお願い申し上げます。

(大学二十六回 松尾 信)



<http://www.kansai-shiwasukai.club/>



